

I練習日程

月 / 日	時 間	会 場	備 考
H9 2月1日(土)	PM 7~9時	旭ヶ丘公民館	
8日(土)	"	"	注:日時が変更しました
16日(土)	"	"	
22日(土)	"	"	
3月2日(日)	"	"	
9日(日)	"	"	
15日(土)	"	"	

2. 拡大役員会 (1月18日 於ホーベルハウス 15名参加)

さる1月18日、練習後、指揮者とまじえ、当面の課題、特に演奏会をどうするかについて団の方向付けを行うため、より多くの意見を聞く目的で拡大役員会とした。(以下当日の様様を抜粋)

団長: 過去2年間、演奏会を目標にやってきたが、結果として出来なかった現状と来年度の春演奏会を持つとすれば、日程的には約50回位の練習で、3~4ステージで約30~40曲位を考えると、とてゼロからのスタートは難しい。したがって、これまで歌ってきた曲に新たに10曲ぐらいを加えて実施するか、又は演奏会を延期してゼロからスタートするか、2つしか選択肢はない。
自分としては、これまで全国かやる気になり、外部にもそれなりにPRしてきた現状を考えると、「何とかして演奏会を成功させたい」。そのためには指揮者と全国が一丸となる必要がある。各人の意見を聞きたい。

指揮者: しばらくの間は、明るい声づくり、簡単な曲で互いに聴きあい、美しいハーモニーづくりに力を入れたい。エグをしっかりとさせるために、気長にこつこつとやっていきたい。したがって演奏会のことは当面、具体的には考えない。ただし、皆の気持ちから演奏会をやりたいというのであれば、1年半位の時間と、皆の気持ちが一丸となっていれば、可能と思う。

技術委員長: 合唱団の活動には節目、々あり、昨年の12月に開く予定を今年の4月に延期、更に来年に延期、そして白紙撤回ということになれば、団は救心力を失い、ひいては団がバラバラになる危

険性がある。1年ないし2年以内には演奏会を開く方がいい。そのためにも、今まで歌ってきた歌は歌として、松井先生に指揮をしてもらう事により、新しい面が出て来ると思う。早く目標を決めるべきである。

「金か貯ったら家を建てる」ではいつまでたっても家は建てられない。

- A: 演奏会については全国で回るべきだ。送曲については先生や板垣氏の人にお任せする。
- B: 新生旭混声ということであれば、演奏会を目的とはせずゼロからスタートすべきだと思う。
- C: 演奏会を来年度の4月に限定せず、もう少し長いスパンで考えたらよい。近い将来にはぜひやりたい。
- D: 松井先生の音楽で演奏会をやりたい。全ステージ松井先生の音楽で考えると演奏会には伸びるが、それはそれでよいと思う。
- E: 今まで団員は演奏会に向けてがんばってきた。演奏会がなくなる事で気持ちが落ちるのかもしれない。松井先生の意向に従いながらも、目的をもって歌と取り組むためにも演奏会が必要と思う。
- F: 本来なら昨年度の12月に演奏会を終っているはずであるし、もう終わったと考えるべきである。演奏会はやろうと思えばやれる実力はある。

その他等々……

<まとめ>

- (1) 皆の議論の結果は演奏会の日程は白紙に戻し、松井先生の指揮のもと1年半位の内にぜひ演奏会を持ちたいとの意見が大勢を占めた。これを役員会の方針(案)として、総会に回りたい。
- (2) 特別団費 積立て金について
 - ① 徴収は今月(1月)で凍結
 - ② 基本的には個人に返還することとしたいが、次回の演奏会資金、ユニホーム製作等の問題もあり、総合的に検討し、これも総会で決定することとしたい。

3. 総会 近づく

練習日をつぶさないためにも3月20日(木)祝日、総会を行いたい。
議題は 1. 演奏会について 2. 特別団費の件 3. 役員改選

4. 新入団員 紹介

テノール 酒井敏行
アルト 酒井富子

少々ヒネた新人ですが、それもそのはず、初回定演では一緒に歌った仲間です。